

10月1日、全国で平成20年住宅・土地統計調査が行われます。

この調査は、住宅土地に関する最も基本的な調査です。昭和23年以来5年ごと行われており、今回で13回目になります。

調査結果は、国や都道府県・市区町村が住生活基本計画やまちづくり施策などを立案するための重要な資料として利用され、わたしたちの住生活の向上に大切な役割を果たします。

調査は、全国の調査区の中から約5分の1の調査区を選び、その地域内の世帯を対象に行われます。全国で約350万世帯を対象とする最も規模の大きい標本調査です。

今回、川根本町では12地区が調査の対象となりました。

住宅・土地統計調査が行われます

見えてくる 日本の暮らし 住まいから

9月下旬に調査の対象となったお宅に調査員がお伺いし、世帯ごと調査票を配布します。調査票は、後日、調査員が受け取りに伺います。

秘密は守られます

調査票に記入していた内容や他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。安心して、ありのままをご記入ください。皆さんに記入していただいた調査票の集計結果は、平成21年夏頃に総務省統計局から公表される予定です。

ご不明な点などは、気軽に担当課までお問い合わせください。

本庁企画環境課まちづくり係
電話(56) 2221

秋の行政相談週間です

国の仕事やその手続き、サービスなど、行政に関する住民の皆さんの苦情や要望、問い合わせなどの解決を図るのが「行政相談」です。そして、行政相談の身近な窓口になるのが「行政相談委員」です。

行政相談委員は、総務大臣が特にお願ひした民間の有識者(ボランティア)の方です。相談は無料で、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

町の行政相談委員

渡邊妙子さん(八中区)
電話(56) 0736
中村とし子さん(小長井区)
電話(59) 2823

静岡行政評価事務所

電話054(254) 1100
ナビダイヤル
0570(090) 110
広報の「くらしのカレンダー」にも相談日が記載されています。

フォーレなかかわね茶茗館情報 ●実演会・展示会にお越しください

想像力豊かな作品群・崎平出身者
■前澤妙子版画作品展

期間 8月7日(木)~9月29日(月)
会場 茶茗館 多目的ホール
費用 入場無料
展示期間が変更になりました。



茶手揉み保存会川根支部による
■川根揉み切り流手揉み実演会

日時 9月7日(日)
正午から(実演:1時間30分)
会場 茶茗館 多目的ホール
費用 参加無料



各催しの問い合わせ先 フォーレなかかわね茶茗館 電話(56) 2100

《茶娘ちゃんカード会》からポイント交換セールのお知らせ

ポイント交換セール 9月20日(土)から 9月29日(月)まで



—このまち、この人

次の「この人」を募集しています。自薦・他薦は問いません。でも他薦の場合は、本人のご承諾のあった上で推薦してくださいね。

全日本小学生男子ソフトボール大会に出場

ソフトボール榛原クラブ所属

田森聖さん(中川根第一小6年・写真右)
小田直樹さん(中川根第一小5年・写真左)

全日本小学生男子ソフトボール大会(日本ソフトボール協会主催)が8月上旬、牧之原市総合運動公園で開催された。県予選を勝ち抜いた48チームが出場し、優勝を目指して熱戦を繰り広げた。

この大会に静岡県代表として出場した「榛原クラブ」に所属する田森聖さん(中川根第一小6年)と、小田直樹さん(同小5年)は、2人とも堅実な守備が自慢、チームに欠かせない存在だ。

全国大会の初戦「鳩ノ森フアイターズ(滋賀県)」と対戦した榛原クラブは、鳩ノ森打線を0点に封じ込め、また味方打線が爆発し7得点という大量得点で勝利を呼び込んだ。

続く2回戦の相手は愛媛県の強豪「三崎小スポーツ少年団」。終盤までリードされる展開で進んだ最終回、3ベースヒットなどで一挙3得点を上げる猛追を見せる。しかし反撃もここまで。惜しくも3対4で涙を飲んだ。

田森さんは外野控え選手としてベンチから声が枯れるほど応援し、味方打線を後押しした。「これが最後の全国大会だと思つて精一杯声を出しました。負けたのは残念だけど、いい思い出になりました」と話し、たく

さんの友だちもできて嬉しいと微笑む。正捕手として出場した小田さんは「がんばったけど一歩及ばず悔しい思いをしました。でも来年につながる試合ができたと思います」と話してくれた。

この2人は、地元藤川スポーツ少年団ではバッテリーを組むチームの要。特に田森さんは女子ながらキャプテンを務め、チームメイトや監督の信頼も厚い。

毎週月曜日と木曜日、学校が終わってからの2時間、グラウンドでひたすら汗を流す。授業の後で疲れもあるだろうが、2人は「練習は楽しい」と笑う。

田森さんは来年は中学生。「中学にはソフトがないのでバレーボールをやりたいと思います」と話してくれた。小田さんは来年6年生になり、チームの中心選手として仲間を引っ張っていく。

2人は今日も白球を追いかけるため、グラウンドへと向かう。